



公立学校共済組合  
四国中央病院

日本医療機能評価機構認定病院

# しこく

ホームページアドレス <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>

第52号

2013年6月

住所: 愛媛県四国中央市川之江町2233番地 TEL(0896)58-3515 FAX(0896)58-3464



四国中央病院54周年記念 平成25年5月15日

## 今月のもくじ

- ◇巻頭言  
公立学校共済組合四国中央病院長 就任のごあいさつ… 病院長 鎌田正晴 2・3
- ◇特集1 小児外科の新設によせて …… 副院長・小児外科部長 大塩猛人 4・5
- ◇特集2 認知症疾患医療センターのご案内 …… 5
- ◇新任医師・職員紹介 …… 6・7
- ◇地域連携だより 開放病床登録医師のご紹介 …… 8
- ◇編集後記 …… 8

病院理念

【真心・信頼・連携・思いやり】

広報誌

しこく

第52号 発行平成25年6月28日  
編集 四国中央病院広報・年報委員会  
e-mail s-tyuou@shikoku.ne.jp

## 病院長就任のごあいさつ

公立学校共済組合四国中央病院長

かま だ まさ はる  
鎌 田 正 晴



今年もまた、満開の桜を楽しむことなく4月が過ぎてしまいました。皆様におかれましても、例年になく慌ただしい1ヶ月ではなかったかと申し訳なく思います。同時に、この厳しい状況の中、本院、分院とも、予想を上回る数字を残していただきましたスタッフの皆様の頑張りに、ただただ感謝申し上げます。

この4月1日付で森本忠興前院長の後任として赴任し、ようやく各種会議や挨拶などが一巡したところです。私の前任地は徳島県の健康保険鳴門病院で、副院長として産婦人科診療の傍ら院長を補佐する役目を果たしてきました。平成13年までは主として大学で、診療、研究、教育に携わり、沢山の後輩を育てたことが自慢です。その間多くの関連病院にも出向しています。昭和51年には四国中央病院でも勤務していますが、50年誌によると、産婦人科医として3番目の常勤医だったことがわかりました。当時は、病院西側（現在の駐車場）にあった古い木造平屋の官舎でしたが、今回は綺麗なマンションの5階に部屋を頂き、川之江の素晴らしい景色を堪能しています。

森本先生は、この4年間の任期中、県立三島病院の委譲と、それに伴う宇摩地区の地域医療再生計画を実行するために大変尽力されたと聞いています。さらに三島の委譲後の3年間、本院と分院という効率の悪い体制を維持・運営されてきたことは、森本先生だけでなく、職員の皆様のご苦勞も大変なことであったと拝察いたします。しかしその中で分かったことは、三島医療センターの委譲にあたって県からの医師の補充がなされた時期には、患者数が増え、病院の収益も改善したということです。この事実はこの地域の医療環境の良さを示しています。すなわち約10万人の人口を有する宇摩地区の中核病院として、四国中央病院は地域住民から十分信頼されていることを示しています。医師をはじめとするスタッフが揃い、地域の患者さんを地域完結型で診療する体制を整えば、他地域に流出していた患者さんが喜んで当院を受診して下さるようになることは間違いありません。それがまさに地域医療への貢献であり、そのまま病院の発展につながるわけです。

スタッフを揃えると口で言うのは簡単ですが、ハードルはかなり高いものです。幸い現在、徳島大学の学長、病院長、医学部長とは良好な関係にあり、実際に応援をいただ

いていることは皆様ご存知かと思えます。しかしまだまだ非常事態が続いており、まずはスタッフの拡充に向けて努力が必要ですが、その先には、派遣される医師のみならず大学にもメリットのある永続的な体制を視野に入れなければならないと考えています。

四国中央病院には、3つの武器があります。今はやりの3本の矢といってもいいかと思えます。1つは先に述べた医療環境の良さです。2つ目は、文部科学省管轄の病院だということです。パイプの太さも重要な要素ではありますが、大学は、同じ文部省管轄の機関として特別な意味を持つ病院として認識しています。逆に当院は、その大学の期待に沿えるように対応しなければならないことは当然です。

最後の矢は、統合新病院という大きな夢があることです。地域に信頼され、必要とされる病院になることでその夢は叶うはずですが、そのためには職員の皆様の能力が十分に発揮され、かつ結集されることが必要です。人材とコミュニケーションです。

そのために

**研究会や学会には積極的に参加してください。**

**専門資格にはどんどんトライしてください。**

**専門や職種は違って、お互いを信頼し、敬意を払いましょう。**

**最後に、この病院の職員であることを誇りに思ってください。**

私の役目は、職員の皆様がこのように思える環境を整えることだと考えています。

今後の当院の発展のために、進むべき方向性、新病院の構想を皆様と一緒に考え、一緒に行動していきたいと考えています。皆様のご協力をお願いするとともに、私の役目を果たせますよう最大限努力することをお約束して就任のご挨拶に代えたいと思います。



2013年4月

## 新しく小児外科の診療を開始しました

### 「小児外科の新設によせて」



副院長・小児外科部長 おおしお たけひと 大塩 猛人



本年4月当院に赴任し、新しい診療科として小児外科を開設致しました。小児外科の診療範囲は出生前の胎児から15歳までの小児を対象としています。一応、脳神経外科、心臓外科、整形外科などを除く、消化器および一般外科的な子供の疾患について診療を行います。なお、小児に限定した呼吸器、泌尿器、婦人科的疾患も含んでいます。

私は国立療養所から名称を変更して開設間もない香川小児病院に外科医長として赴任して35年間勤務しました。赴任当時は小児外科の認知度は低く成人外科の医師が片手間で診療していましたが、その後小児外科患者は小児外科専門医が診療できる四国唯一の病院になりました。患者は四国四県から来院し、愛媛県では西条市からも来院していました。

香川小児病院を定年退職後、招聘されて北関東栃木県那須塩原市の国際医療福祉大学病院の小児外科教授として3年間勤務しました。赴任時には、当大学病院には小児外科の診療科はなく新しく開設となりました。病院は栃木県の県北地方に位置しており、人口は四国中央市よりやや多い地域となりますが、小児外科の診療は空白地域でありました。私が赴任するまでは、患者は家族に連れられて1時間以上を掛けて県都宇都宮市以南に出かけなければなりませんでした。しだいに地域の小児の診療をする医師から信頼され、そして地域住民の認識も向上して、新生児から15歳までの手術患者数は3年目には年間100件を越えるまでになりました。

この度、出身地の四国へ帰って来て、縁があり当四国中央病院に勤務することになりました。当院でも小児外科は新設診療科であり、私にとっては3度目の診療科の立ち上げとなります。前任地の国際医療福祉大学病院と同様に、当地では周辺には小児外科診療が可能な施設はありません。

我が国では小児外科専門医は少なく、さらに日本小児外科学会が認定している小児外科指導医は、四国四県においては私を含めて6名の医師のみであります。愛媛県では松山市とその周辺の病院に勤務しています。医療が細分化され進歩した現代では、小児の外科的疾患は十分な知識と経験を備えた小児外科医が行うべきであります。また、地域の子供達が家族に連れられて遠方まで受診する事は、患児はもとより家族にとっても大きな負担であります。そこで、私の40年以上にわたる小児外科診療経験が、当地および近隣の悩める子供達に広くお役に立てればこの上ない幸いと考えています。

# 認知症疾患医療センターのご案内

4月から愛媛県の指定を受け、  
認知症疾患医療センターを開設しました!!

認知症疾患医療センターとは…

認知症の方やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症の早期発見・早期治療に繋げるため、愛媛県の指定を受けて運営しています。

**\* かかりつけ医を通してご相談ください \***

認知症疾患医療センターでは以下のことを行います。

- ◎認知症に関する相談窓口を設け、電話等による専門医療相談を行います。
- ◎認知症の鑑別診断に基づく初期対応をします。  
※センターを受診される場合、原則かかりつけの先生を通してご予約を取っていただきます。
- ◎周辺症状や身体合併症への対応をします。
- ◎医療機関などを対象とする学習会を開催します。
- ◎地域連携協議会を組織し、地域の認知症連携体制の強化を図っていきます。
- ◎認知症に関する情報発信・情報提供を行います。

センター直通電話:

**0896-58-5610**

センター直通FAX:

**0896-56-6081**

相談受付時間:月～金曜日 9:00～17:00  
(祝・祭日を除く)

# ようこそ！ 四国中央病院へ

(平成24.12～平成25.6月採用者)



【氏名】：橋本 啓二  
【職種】：第二放射線科部長  
【趣味】：園芸(薔薇などの花、果樹栽培)  
【自己PR】3月に赴任してきて、ようやく東と西が判りかけました。「人にやさしい医療」を心がけています。放射線の被爆についてのご相談にも応じますので、不安を持たずに相談してください。



【氏名】：大塩 猛人  
【職種】：副院長(小児外科部長)  
【趣味】：ゴルフ  
【自己PR】徳島大学病院、香川小児病院、国際医療福祉大学病院等で小児外科診療に40年以上にわたり携わってきました。今回、当地の悩める子供達のために少しでも役立てることができればと考えています。



【氏名】：坂本 新介  
【職種】：神経・精神科医員  
【趣味】：水泳・ドライブ  
【自己PR】4月からお世話になります。大学のサークルで始めた水泳を、今でもジムに通いながら週一回程度行っています。医師として患者様の力になれるように一生懸命頑張りたいと思います。



【氏名】：手束 真理  
【職種】：小児科医員  
【趣味】：テニス・お菓子作り  
【自己PR】医師8年目となります。専門は、血液・腫瘍・免疫です。一人一人のお子さんが、健やかに毎日おられるよう小児科医としてがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。



【氏名】：浅野 理仁  
【職種】：外科医員  
【趣味】：釣り・自転車  
【自己PR】4月から新たにお世話になることとなりました。現在までは徳島市民病院、徳島大学病院と、ずっと徳島で、愛媛は初めてですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



【氏名】：堀川 卓志  
【職種】：臨床工学技士  
【趣味】：バスケットボール・読書  
【自己PR】4月から勤務させて頂くことになりました。1つでも多くの知識や技術を身につけ、何事にも対し、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



【氏名】：近藤 俊佑  
【職種】：臨床工学技士  
【趣味】：読書  
【自己PR】新社会人として働くことになりました。早く仕事を覚え、また、たくさんの経験を積み、一生懸命頑張りたいと思います。スタッフの方々はもちろん、患者様からも信頼される技士になりたいと思います。



【氏名】：川崎 真菜  
【職種】：診療放射線技師  
【趣味】：旅行  
【自己PR】3月に卒業し、4月から放射線技師として勤務させて頂くことになりました。笑顔を絶やすことなくがんばりたいと思います。早く仕事を覚え、みなさんの役に立てるようになります。よろしくお願いいたします。



【氏名】：岡澤 志帆  
【職種】：助産師  
【趣味】：DVD鑑賞  
【自己PR】新社会人として勤務することになりました。家族と共に温かい雰囲気、新しい生命が迎えられるようなケアができる助産師になりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



【氏名】：花岡 玲奈  
【職種】：看護師  
【趣味】：バスケットボール  
【自己PR】4月から勤務させて頂くことになりました。分からないことや不安もありますが、専門学校で学んできたことや、皆様やスタッフの方々、先生方にご指導をいただきながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



【氏名】：三井 佑里菜  
【職種】：看護師  
【趣味】：ドライブ・ショッピング  
【自己PR】4月から勤務させて頂くことになりました。少しでも早く業務内容を覚え、笑顔を忘れず、明るく一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



【氏名】：石川 実紀  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：テニス  
 【自己PR】 4月から看護師として勤務することになりました。新しい環境に不安もありますが、日々努力を積み重ね、頑張っていきたいと思ひます。少しでも早く仕事に慣れて、皆様の力になりたいと思ひますので、よろしくお願いいたしします。



【氏名】：後藤 舞  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：音楽鑑賞  
 【自己PR】 4月から看護師として勤務することになりました。新しい環境に不安や緊張もありますが、夢に見た看護師として地元で働けることを嬉しく思っています。患者様とご家族の皆様の方になれるように、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



【氏名】：玉井 香帆  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：犬の散歩  
 【自己PR】 地元で幼い頃から夢であった看護師として働けることを嬉しく思ひます。向上心を持ち、患者さんに安全で安楽な看護ができるよう日々努力し、一生懸命学びたいと思ひます。初心を忘れず、常に誠実に看護をしていきたいです。何事にも積極的に取り組み、諦めず精一杯頑張ります。ご迷惑をおかけすることも多々あると思ひますが、ご指導よろしくお願いいたしします。



【氏名】：藤井 由貴  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：スポーツ  
 【自己PR】 4月から新人看護師として勤務させていただくことになりました。夢であった看護師として一歩踏み出し、患者様と向き合っていけることを嬉しく思っています。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、真心のある看護を提供できるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたしします。



【氏名】：宮崎 美咲  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：ショッピング  
 【自己PR】 4月から新人看護師として勤務させていただくことになりました。患者様1人1人に寄り添う看護ができるように、皆様との出会いを大切に、日々精進していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



【氏名】：眞鍋 香代  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：スノーボード  
 【自己PR】 4月から勤務させていただくことになりました。地元で働ける喜びを胸に、向上心を持って明るく元気に頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



【氏名】：鎮守 義幸  
 【職種】：看護師  
 【趣味】：旅行・オフロードバイク  
 【自己PR】 始めまして。看護師6年目(外来看護師3年目)の鎮守です。一歳になる息子の育児のため、四国中央市に引越して参りました。患者さんが、安全・安楽に外来診療を受けられるように精一杯頑張ります。



【氏名】：小泉 一行  
 【職種】：医事課長  
 【趣味】：読書・スポーツ  
 【自己PR】 4月より医療事務を担当する「医事課」(受付の中の事務スタッフです)で勤務させていただいております。皆様に愛される「病院スタッフ」を目指し、日々、精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



【氏名】：石川 典男  
 【職種】：保全係員(三島医療センター)  
 【趣味】：テニス・映画鑑賞・写真鉄道模型  
 【自己PR】 4月から勤務させていただくことになりました。早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう、努力し頑張るって生きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。



【氏名】：合田 真理子  
 【職種】：外来補助者  
 【趣味】：雑貨屋めぐり・ドラマ鑑賞  
 【自己PR】 3月から勤務させて頂く事になりました。少しでも早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう日々努力し、頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



【氏名】：白石 祐子  
 【職種】：外来補助者  
 【趣味】：子供と遊ぶ事  
 【自己PR】 3月から勤務させて頂きます。病院でのお仕事は初めてですが、少しでも皆様のお役に立てる様、日々学んで行きたいと思ひますので、よろしくお願い致します。



【氏名】：滝下 佳代子  
 【職種】：看護師(三島医療センター)  
 【趣味】：ドライブ  
 【自己PR】 3月から勤務することになりました。慣れるまで皆様にご迷惑をおかけする事もあると思ひますが、よろしくお願い致します。

～ 開放病床登録医師のご紹介【第11回】～

当院の開放病床に登録された先生方からご紹介いただいた患者さんには、ご紹介の先生と当院の医師とが共同で診療を行っており、入院前から一貫した医療をご提供しています。

三島外科胃腸クリニック



登録医：溝渕正行  
住 所：四国中央市中之庄町 116  
電話番号：0896-24-3111  
診療科：外科・胃腸科  
麻酔科・泌尿器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	○	○	○	□	○	○	×
午後 14:00～18:00	○	○	○	×	○	△	×

□木曜日の受付 9:00～13:00 まで △土曜日の午後 13:00～15:00 まで



昭和55年、有床診療所として開業以来33年目になりました。主として腎不全患者様の血液浄化療法を中心に、また、かかりつけ医として初期診療に従事してまいりました。日頃より診断困難な疾患

を有する患者様や重症患者様について、四国中央病院各科の先生に大変お世話になり感謝致しております。病診連携につきまして各種便宜をはかっていただいております。今後も四国中央病院との病診連携を更に密にさせていただきまして地域医療に一層の貢献ができるよう頑張りたいと考えています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

相馬医院



登録医：相馬紀夫  
住 所：四国中央市土居町土居 252  
電話番号：0896-74-2002  
診療科：内科・小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	○	○	×	○	○	○	×
午後 14:00～18:00	○	○	×	○	○	×	×



平成2年に県立新居浜病院を退職し、その後、土居町で家内の後を継ぎ、内科一般診療に従事しております。以来、四国中央病院の先生方には一角ならぬお世話になっており、感謝致しております。新年度

よりは、鎌田新院長を迎えられ、スタッフ並びに施設の充実が図られ、我々の強い銃後の守りを担っていただいております。今後ともよろしくお願ひ致します。



■編集後記

今年も暑い季節がやってまいりました。新しい病院長就任から2ヶ月あまりが過ぎ、当院が新たに動き始めたことを少しずつではありますが実感しています。

巻頭言は病院長にお願いしました。当院が最良の方向へ向かい当市(当地区)の医療の充実に貢献でき、その結果ひとりでも多くの人を救うことができるように我々職員は絶えず努力していく必要があると思います。そもそも我々はそのために医療従事者になったのですから。

今回の特集は、①小児外科の新設 ②認知症疾患医療センター開設に関する紹介記事です。

当院の診療機能が専門的に充実される形で幅広くなったことは実に喜ばしいことです。

新年度は当然新任職員が多くその紹介に2ページを使いました。今年はこの新しいスタッフの力にも期待できます。新人からベテランまで素晴らしい方々に来ていただきました。縁あって同じ職場で一緒に仕事することになった皆様、大きな目標に向かい共に頑張っていきましょう。

(浜田 信一)